



地域支えあいニュース

第24号 平成30年12月

綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム

(事務局:綾瀬市社協 地域福祉班) 電話:0467-77-8166 ファックス 0467-79-1812

E-mail info@ayase-shakyo.or.jp

ささえあい井戸端会議 蓼川 発足！！

平成30年12月20日(木)
蓼川自治会館にて「ささえあい井戸端会議 蓼川」が市内9番目として発足しました。

座長には、蓼川地区社協の伊藤副会長、書記には蓼川地区社協の野満理事が選出されました。

蓼川地区は、綾瀬市の北のはずれで、相鉄線相模大塚駅が近く、駅のない綾瀬と言われながらも交通の便が良く、地価も高い地区です。その反面、商店や医療施設、社会福祉施設などの社会資源がほとんどない地域でもあります。しかし、蓼川神社がある鎮守の街で、自治会活動や地区社協活動も活発な地域でもあり、地域住民同士のつながりも強い地域でもあります。



冒頭挨拶をする地域包括ケア推進課石原課長。

恒例の拍手をもって設立を確認しました。



恒例の拍手をもって設立を確認しました。

今回は、発足式のみということで、次回より本格的な話し合いが行われることとなりますが、次回の会合に向け、このような話しがあがりました。

- 蓼川住民の買い物は大上のフードワン、相模大塚のいなげや、高齢者はセブンイレブン。
- 相模大塚に新しいスーパーが出来る予定。移動販売サービスもあるらしい。

- 高齢者夫婦で片方が認知症になった時どうしたらよいか。
- 地域包括支援センターには、今年度より認知症推進員を配置したので、活用してもらいたい(地域包括ケア推進課)
- 保健福祉プラザで検診が行われるが、コミュニティバスのバス停が遠い。路線の変更を要望できないか。

これからどんな話しが飛び出すか非常に楽しみです。

蓼川地区の定例会は、毎月第2金曜日、午後6時30分より蓼川自治会館にて開催されます。